# 立命合宿2017 Day3

## B: だんすなうwww

原案: 井上

問題文: 井上

テスター: 井上・杉江・竹内

解説: 井上

#### 問題概要

- 3部門で競う大会があり、Nチームが参加
- 各チームは部門に対応する3つの値 s<sub>i</sub>, p<sub>i</sub>, c<sub>i</sub> を持つ
- 各部門ごと、対応する値の降順に順位が決まる(同率あり)
- 各部門ごと、j 位のチームは r<sub>i</sub> 点を得る
- 各部門の獲得点数の和の降順で総合順位が決まる
- あるチーム X はいま9位 (同率) なので、3値のいずれかを任 意の量上げて、8位 (同率) にしたい。上昇量の最小値は?

制約: 1≤N≤100, 1≤ s<sub>i</sub>, p<sub>i</sub>, c<sub>i</sub>, r<sub>i</sub> ≤ 100

#### 順位の計算

まずは値を上昇させることを忘れ、現状の順位の計算方法 を考えると、以下の通り

- 1. 部門ごとに得点により降順ソート: O(NlogN)
- 2. 同率に注意しながら (前の人と値が同じなら前の人と同じ順位にする、等) 各チームの得点計算: O(N)
- 3. 総合得点で降順ソート: O(NlogN) (チーム X はこのとき同率 9 位)

#### 上昇値の計算

- 3値の取りうる値の上限が100なので、上昇値は高々100、 どれを上げるか込みでも ×3 で300通り
  - → 全部試せばよい

```
for i = 1 to 3
for j = 1 to 100
チームXのi番目の値をjだけ増加
前述の順位計算法で順位計算
if チームXの順位が8位 (同率) then return j
```

• 計算量: O(NlogN max{s<sub>i</sub>, p<sub>i</sub>, c<sub>i</sub>})

### (余談)高速解法

よりサイズが大きい問題でも解ける

- 1. 上昇値を二分探索: O(NlogN log max{s<sub>i</sub>, p<sub>i</sub>, c<sub>i</sub>})
- 順位が変わるギリギリの点だけ試せばよいので試す点数は O(N) 通りでよい
  - 1度初期順位を求めた後、1つずつを順位を上げていくように 試すと、計算量が落ちる
  - 順位変動は上位9チームだけ見ればよいので各上昇につき定数 回の操作で済む
  - 全体でも O(NlogN)

#### Writer 解

• 井上: 86 lines, 1896 bytes (C++)

• 杉江: 74 lines, 2069 bytes (C++)

• 竹内: 130 lines 3164 bytes (C++)

#### 統計

- Accept / Submission
  - 55.00% (22/40)
- First Acceptance
  - On-line: beet (00:12)
  - On-site: iak (00:27)